

総合計画等推進市民委員会から第7次八戸市総合計画意見書が提出されました



☎政策推進課 ☎43-9233 ☎47-1485

※第7次八戸市総合計画意見書は、政策推進課で閲覧できるほか、市のホームページにも掲載しています。

第7次八戸市総合計画とは（計画期間：令和4～8年度）



第7次 八戸市総合計画
ひと・産業・文化が輝く
北の創造都市

総合計画は、時代の流れを捉えた上で、将来の都市像を掲げ、その実現に向けて、誰が、どのように取り組んでいくのかということを実施として総合的かつ体系的にまとめた市の最上位計画です。

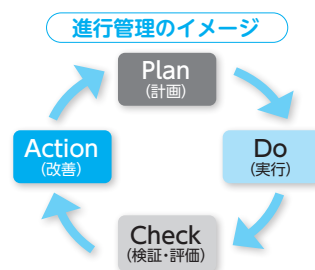
本計画では、令和12(2030)年頃の当市の将来都市像として「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」を掲げ、その実現のため、まちづくりに参画する行政機関や民間企業、各種団体、住民など、多様な主体が取り組む3つの行動指針を示し、地域が一体となって推進する6つの政策を定めています。

総合計画等推進市民委員会とは

八戸市では、第7次八戸市総合計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルによる適切な進行管理を実施しています。

総合計画等推進市民委員会は、PDCAサイクルのCheck(評価・効果検証)を担う市の附属機関です。

委員会では、総合計画の6つの政策に位置付けられた55施策の進捗状況について審議を行い、今後重点的に取り組むべき事項について意見書を取りまとめました。



6つの政策に対する総括意見

- ▷計画に基づく取り組みは始まったばかりではあるが、市では全ての施策に着手しているとともに、既に事業成果も見え始めているものもあることから、計画に基づく取り組みが順調に開始されていることを評価する。
- ▷グリーン化やデジタル化、SDGsなど第6次までの総合計画には無かった新たな項目については、国の方針を的確に捉えるとともに、国の支援策も有効に活用しながら、経済、社会、環境のバランスの取れたグリーン社会の実現や、市民の利便性向上に資するデジタル社会の形成に向けた取り組みを着実に推進していただきたい。
- ▷施策の推進に当たっては事業内容の充実はもとより、積極的かつ効果的な周知に取り組むことで各施策の満足度と認知度の向上につなげていただきたい。
- ▷昨今の不安定な国際情勢による物価高騰や、基幹産業である水産業における水揚量の激減、中心市街地のにぎわいの低下など、喫緊の重要課題がさまざまな分野において顕在化してきていることから、課題解決に向けて戦略的に取り組んでいただきたい。

令和4年9月30日に総合計画等推進市民委員会より市長に意見書が提出されました。市では、委員会からの意見を踏まえ、事業内容の見直しや新規事業の検討を行い、第7次八戸市総合計画のさらなる推進を図ります。